

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あいあい静岡インター校			
○保護者評価実施期間	令和7年11月12日		～	令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	令和7年11月25日		～	令和7年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様一人ひとりに合わせた支援プログラムを提供できること。個別に支援を行うことができるため、その都度、利用者様や保護者様のニーズに合わせたプログラムを組むことができる。	朝のMTや支援の引継ぎ、前回までの記録などをもとに、職員間で支援プログラムを改善、利用者様の発達段階や特性を踏まえて、内容を更新している。個別支援計画に合わせて、それぞれの特性と課題に合わせた支援を提供している。	事業所内アンケートでは、満足度で高い評価をいただいている反面、「特性に合わせた支援」についてご意見をいただいた。保護者様との連携、他事業所との情報共有、ご本人のニーズの把握と、支援の質向上により一層努めていきたい。
2	フリースペースの設備や環境整備が整っていること、様々な年齢の利用者様に合わせたツールが揃っていることで、飽きのこないような支援プログラムの立案を行うことができる。	特にこの1年では、粗大運動で使えるジャングルジムやトンネルなど、児発の利用者様がたくさん体を動かして活動できるアイテムが揃った。また、利用者様から寄付していただいたアイテムも、支援で有効活用させていただいている。	利用者様の好みや特性に合わせて、適切にツールを使用していく他、支援計画との照合性を今一度振り返り、より専門性高く、療育の質向上を図っていく。
3	様々な資格を持った職員が在籍しており、それぞれの知見から支援プログラムを考え、様々な視点から考えて支援を提供できる環境が整っている。	様々な職員が支援に入ること、そのときの気付きを職員で共有し、今回の支援プログラムに役立てることができる。それぞれの職員の気付きを、次の支援に反映することができる。	様々な資格を持った職員が在籍していることに加え、工作が得意な職員、体を動かす活動を得意とする職員など、それぞれの得意分野を活かして、支援の内容を充実させていけるよう、引き続き支援の質向上を目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等、開催が無いことから、参加の機会が得られにくいこと。	静岡インター校では、父母の会や保護者会等の開催が継続して行われていないことから、このような結果となった。静岡市内では保護者会を開催する校舎もあり、そちらへの案内を行う等してきた。	同時時間帯の支援で居合わせた保護者様がコミュニケーションを取る中で、悩みや不安を共有されることもあるよう。事業所単位での開催についても、検討していく必要がある。
2	ご家族を対象とした家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が少ないこと。	上記同様、事業所単位ではペアレント・トレーニングの開催が無く、家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が少なくなっている。	事業所入口付近に、家族支援のヒントとなる資料を複数展示してあるため、自由にお手にとってご覧いただけるよう、今一度声かけを行っていく。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が得られにくいこと。	こちらも、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流は今まで行っておらず、他の施設の利用者様との交流の機会は得られにくい現状となっている。	利用者様の要望があり、ニーズが高まってきた様子が窺えれば、開催についても検討していきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		あいあい静岡インター校		公表日		2026 年 2 月 14 日			
		利用児童数		11		回収数		8	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	0	0	0		支援室を3部屋、面談室を1部屋、開けた空間であるフリースペースがございます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	2	0	0		人員に関しまして、配置基準を満たしております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	0	0	0		トイレの手洗い場や高さのある個所では踏み台を用意するなど、配慮しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	0		定期的に掃除、点検を行っております。	
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	2	0	0	各子供の好みに合わせた資料やアイテムの提供をしているものの、それが子供の課題解決として適切なのかは疑問。	資格の異なる複数の指導員で支援を行っております。お子さまの理解や専門性のある支援の提供に努めていきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	2		ホームページに支援プログラムを公表しております。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		支援やフィードバック、面談等でニーズを把握し、計画に取り入れています。お子さまの興味関心をいかした計画を作成しています。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	1	0	0		個別支援計画には「本人支援」「家族支援」「移行支援」の内容が盛り込まれております。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	1	0	0	子供の好みに合わせてくれている部分が多く、支援計画とマッチしているかはわからない。	お子様の発達段階を踏まえながら、個別支援計画に基づいたプログラムを提供しております。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1	1	0	アイテムを定期的に変えたりリニューアルして提供してくれるので飽きづらくて助かる。	お子様の発達段階や興味関心を基に、今後も創意工夫を凝らして支援プログラムを提供していけるよう努めてまいります。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	4	1		現在は予定しておりませんが、利用者様の要望に合わせて、対応をして参ります。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		契約の際に説明をさせていただいております。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	1	0	0		モニタリング会議、個別支援計画案の提示、説明を行っております。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1	3	2		他事業所での開催があった際に、ご案内して参りました。需要に合わせて対応していきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	0	0	0		日々の支援でのフィードバックや面談等を通して、利用者様について情報共有をしております。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	1	1		フィードバック等を通して、質問や疑問点などに対して、話し合った内容をお答えさせていただいたり、相談を受け付けたりしております。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	1		今後も、利用者様、保護者様に寄り添った支援を行ってまいります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	4	2		保護者会につきましては、他事業所での開催を案内するなど行っておりますが、ご要望に応じて自校舎での開催も検討して参りたいと思います。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1	1	2		相談に対して、柔軟に対応して参ります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1	0	0		支援のフィードバックや面談等を通して、丁寧に行ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	1	2	3		ブログやインスタグラムの運営、ライン配信などを行っております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	0	0	1		オープンスペースでの事務所となりますので、今後も個人情報の扱いには細心の注意を払って参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	1	1		各種マニュアルを玄関付近に配置しておりますので、ぜひお手に取ってご覧いただければと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	0	1		非常災害に備え、月に一度、継続して訓練を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		定期的に危険な箇所を見直し、安全計画に則って環境整備を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1	0	1		事故等発生時には利用者様への安全確認を徹底し、速やかに保護者様へ連絡、説明を行い、職員間で話し合いを行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0		今後も、利用者様に安心感を持って通っていただけるよう、職員らで協力し合い、関わりを持ってまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	0	0	0		お子様に来所を楽しみにしていただけるよう、支援の創意工夫を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0	子供が楽しく通えているので先生方にはとても感謝しているものの、もう少し子供の特性に合わせた療育プログラムを組んでもらえるとより効果を感じられるのかなと思います。	お子様の発達段階と特性を踏まえ、利用者様に納得していただけるようなプログラムの立案、支援の提供を行っているよう、努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
あいあい静岡インター校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		支援室を3部屋、面談室を1部屋、開けた空間であるフリースペースがございます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			職員の異動が多かったため、保護者や利用者の方に年度変わりは大きな不安を抱かせてしまいました。指導員が1日に4人いると余裕のある支援ができると思いました。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		トイレの手洗い場や高さのある個所では踏み台を用意するなど、配慮しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃を行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別療育では、基本的に一人一部屋を割り振り、使用していただけるようにしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		朝のMTや職員間での引継ぎを通し、情報共有を行い、課題があれば解決策を話し合い、業務改善を行っております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所内アンケートを毎年実施し、集計結果をHPに公表し、業務改善につなげられるよう努めております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け同様、事業所内アンケートを毎年実施し、業務改善に努めております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価は、現在未実施です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内外の研修に参加できる機会を設け、所属する職員にも積極的に参加していただいております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを、HPを通して公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		毎年アセスメントを更新し、ニーズ把握と課題分析につとめ、計画を立案しております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング、個別支援計画作成には児発管を中心に職員間で話し合い、立案、改善を行っております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全職員で確認できるように計画書をファイリング、データ保管し、計画に基づいて支援を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		NCプログラムやコグトレ等を活用し、アセスメントにつなげております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		保護者の面談や支援のフィードバック等を通じて、家族支援を行っております。ご要望に応じて、園訪問や連携を行っております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		様々な資格を持った複数の職員が活動プログラムの立案、支援を行っております。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		お子様の成長に合わせて、支援プログラムを改善しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本的に個別療育を行っております。要望に合わせて、小集団活動を定期的に行っております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝のMTや職員間での引継ぎを通し、支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援前後やMTで打ち合わせを行い、支援で気になった点等共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録を基に、支援の見直しを行い、改善を心がけております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを併せて行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議や関係機関との会議に継続的に参画し、児発管や支援を中心に入る職員が対応しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		協力医との連携や、必要に応じて園や学校との連携を行っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		相談支援事業所や利用者様の意向に合わせて、園訪問も行うなど、関係連系機関と情報共有、相互理解を図っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	相談支援事業所との連携、情報共有を行っております。	職員への周知を徹底して参ります。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○		児童発達支援センターとの連携を図って参ります。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		基本的に、事業所内での利用者様の交流はございますが、要望に応じて対応していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後にフィードバックを行い、児の発達や課題の共有を行っております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		他事業所のペアレントトレーニングの案内など行って参りました。ご要望に応じて、当事業所でも開催を検討いたします。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に説明を行っております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画の立案、作成の際は、利用者様のご意見、ご要望をもとに、こちらの計画案を提案させていただいております。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援計画の説明を行い、保護者様のご意見、ご要望に合わせて適宜修正し、同意を得て完成させております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご相談は常時受け付けており、必要に応じて面談の機会を組む等の対応をしております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会等の開催は、要望に応じて行っていきたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者様からの相談について、随時受け付けております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPやブログ、インスタグラム、LINE配信等を通して定期的に情報を発信しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		オープンスペースでの事務所となりますので、今後も個人情報の扱いには細心の注意を払って参ります。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個人情報に配慮しながら、情報伝達を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民を招待する機会は、現時点では予定しておりません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		月に一度、防災訓練を行っております。各種マニュアルを事業所内に掲示しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの策定と掲示、月に一度の災害に備えた訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		アセスメントシートを使用して、服用や予防接種、てんかん発作の有無等把握しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	事業所内で、食事の提供は原則行っておりません。	直近では食事の提供を行っておりませんが、アレルギー有無の確認は年に一度以上必ず行っております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の作成、更新、掲示や、月に一度の災害に備えた訓練を行っている他、危険な箇所があれば対応を取っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		事務所内の入り口付近に安全計画の掲示を行っており、お手にとってご覧いただけるようにしております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		定期的なヒヤリハットの作成と事務所内での共有を行い、再発防止に向けて対応しております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止について、定期的な研修と、委員会に参加しており、対応についても振り返りを行っております。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束について、研修等への参加と、個別支援計画等で保護者への周知を徹底しております。	